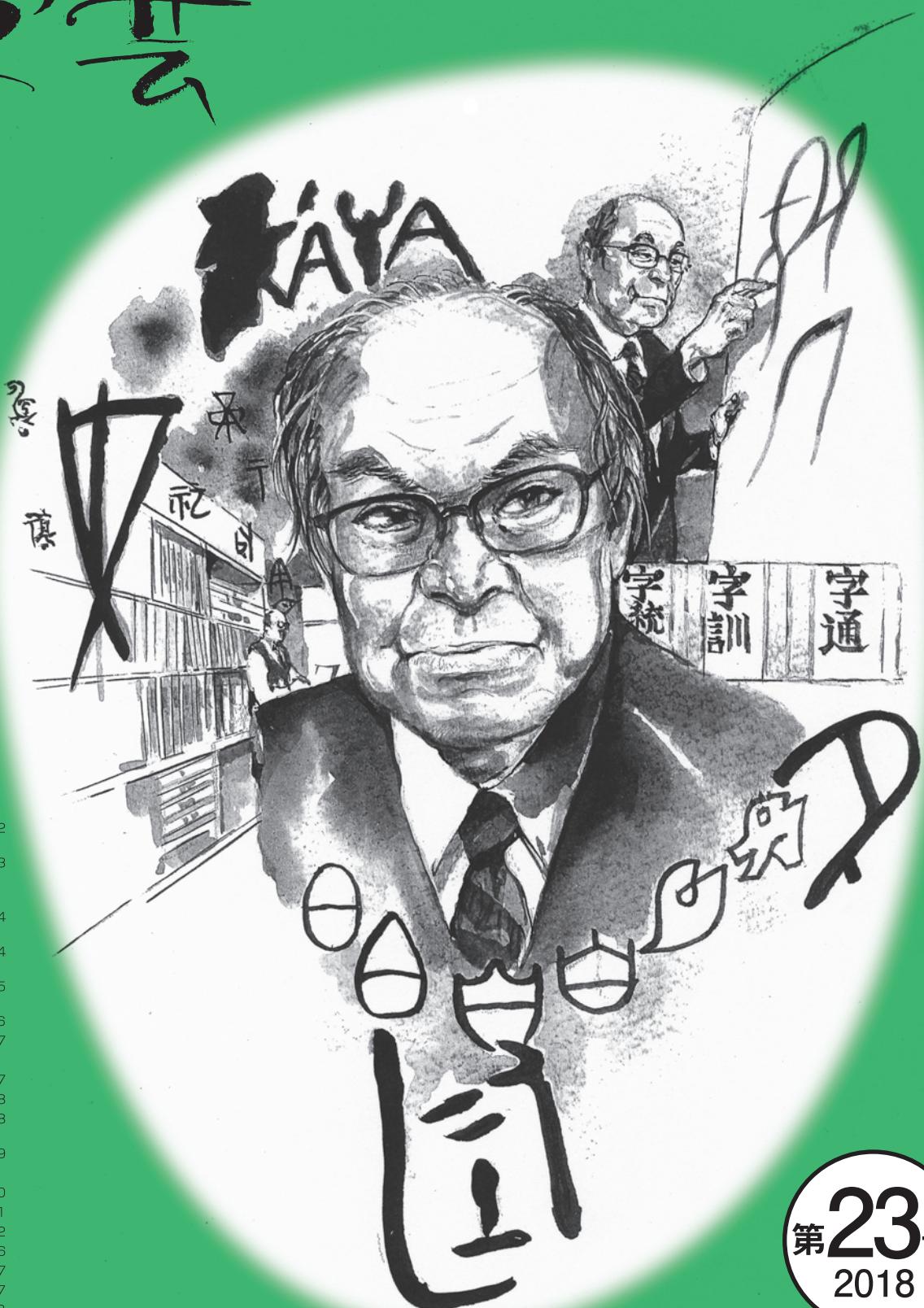


平成30年度 会報

学芸



CONTENTS

- 会報「学芸」第23号発刊にあたり
会長 米田耕作 2
- ご挨拶
理事長 伊丹耕治 3
- あいさつ
高等学校・附属中学校
校長 森松浩毅 4
- 平成30年度PTA活動計画
PTA会長 平尾政信 4
- 大阪学芸高等学校・附属中学校
募集対策部報告 5
- 大阪学芸中等教育学校だより
校長 柴田俊次 6
- 大阪学芸中等教育学校報告 7
- 高等学校・附属中学校
空手道部ご紹介 7
- 慶事 顧問 安永和男 8
- 慶事 顧問 藤井昭三 8
- 「継続は力なりー続・瀧語と私ー」
顧問 猪瀬正雄 9
- 平成30年度同窓会及び
学校主行事の予定表 10
- 活動報告 11
- 行事報告 12
- 同窓会入会式 16
- 卒業生の近況報告 17
- 教職員OB-OFGの近況報告 17
- 現職の先生より 18
- 平成30年度役員名簿 18
- クラブ活動報告 19
- 故白川静先輩の経歴 20
- 年会費等納入のお願い 21
- あとがき 22
- 平成30年度行事予定
2019年総会及び
懇親会のご案内 23
- 平成29年度 決算報告 23

第23号
2018



大阪学芸高等学校同窓会
(成器会)

発行所：〒558-0003 大阪市住吉区長居1-14-15
TEL06(6693)6301 FAX06(6693)5173
URL <http://www.gakugei-seikikai.jp>

会報 第23号発刊にあたり



大阪学芸高等学校同窓会(成器会)

会長　米田耕作

同窓生の皆様におかれましては、益々
「健勝のこととお慶び申上げます。又、
日頃から色々なご支援とご鞭撻をいただき
まして、誠に有難く存じ上げます。

今、波乱含みの政界は、森友、加計問題
が平昌オリンピック後、再びクローズアップ
されています。財務局長が公文書の單
独である改ざんで、安倍内閣の根元を
大きく揺さ振つて、証人喚問も余儀な
しという所でありました。それらは悪徳
教育者が政治家を利用し、又騙しあり
が自分達の利益を求めた為に起つた問
題です。どの世界でもある程度の政治力
が必要な事は理解出来ますが、利己的な
考え方はいくら美辞麗句を並べ立てよう
が許されず、他に愛的な考え方で物事を
為すのは良いという事は言う迄もありま
せん。エリート官僚は自分の出世の為に
権力のある政治家へ忖度をし、公文書を単
独で書き換えたのです。それらを指図し

たのは誰か、あるいはや度によるものな
か、国会の証人喚問で判明していくと思
われますが、絶対にあつてはならぬ事で
あり、法に逆らひ国民を欺く犯罪行為な
のであります。

明治時代を生きた人には偉い人が多
く、この方も紛れもなくそうであります。
校祖遠藤三吉先生は明治36年に私財を拋
げうつて、大阪学芸の前身である成器商業
を創設したのです。更にそのご子孫も学
校の運営及び経営から一切手を引かれ、
全てを学校法人や教師と卒業生に委ねら
れたのであります。それから数十年、成器
から大阪学芸に変遷し、学校組織は一段
と立派に整い、現在は大阪学芸高校と同
附属中学校、そして大阪中等教育学校の
三校が併設されてます。

もし利己主義に勝る人物が現れたなら
ば、その者に思つがままに利用私物化さ
れ、少予化が益々進む今はどつないでいた

が想像もつてしよう。運良くその様な輩
が一人も現れず、益々発展途上にある訳
で、現在は三校合わせて約2800名の
生徒達が本校に通つてゐるのです。これも
法人事務局の役員と教職員と同窓会が三
位一体となり、お互に持ち合わせた他者
愛と抑止力で如くつき、学校運営の歯車
が噛み合つて為せる技だと思います。

1月20日に発行された「学芸新

聞」に目を向けて、「ヨーロッパ・ランド
とカナダへ一年間留学に出発、そして一年
前の生徒たちが帰国した記事。特進看護
コースの生徒達が住友病院へ見学会をお
こなった記事。附属中学生の英語教育、国
際理解教育で、マルチカルチャーを実
施した記事。輝く人の「一」では、劇団
四季で俳優として大活躍中の北村優さん
と、ユースオリンピックと世界選手権を目
指す特技コースの奥野有季さんの記事。女
子サッカー部が創部5年目で第26回全日本
高等学校女子サッカー選手権大会に初
出場でベスト8入り、又その中から一年生
の岩本まりさんがあり、17日本女子代表に
選ばれアメリカに遠征する記事。又空手
道部、吹奏楽部や「一」ラス部、そして個人
として、フイギュアスケートやレーシングカ
ー、バトン、ワーリング、そしてブレイク
ダンス等の記事。附属中学校ではピアノと
吹奏楽部やシンクロナイズドスイミングと

女子バレー、ボーリ部の記事が掲載されて
います。勉学やスポーツでの活躍は所謂文
武両道であり、大変嬉しい記事ばかりで、
実に頼もしい後輩達です。果たして私は
この後輩達と同席し一献を交わす事がで
きるのであろうかと、胸裏を震めます。

昨年の秋季懇親会の事ですが、閉会の辞
も終えた時、理事長職10年間の岡本理事
長(平成30年3月末交代)が私に「盛会で
良かったが、若い卒業生が集まりませんが
何とかならないものですか」と言われまし
た。その問題は以前から何度も取り上げ
られており、若い人の料金を割安にした
り、「無料」にしたけれど一向に埒があかず困
つてゐるのであります。そして若い人達の特別な
懇親会が出来ないかと思い、昨年10月の第
7回役員会で「懇親会に若い人を集めたい
は」と提案し、更に「成人を祝う会」と修正
し継続審議にしました。もし思惑通りに審
議が進むならば今年2月22日(木)に行わ
れた、第113回卒業式の主役571名
が、2年後の成人式の後、全員が20歳を過
ぎた頃に全員に案内状を出せればと思つ
ています。詳細はこれから話し合つて決め
て行き、114期生、115期生と毎年続
けていくつもりです。卒業生の皆様は引越
しをしたなりば必ず住所変更を学校事務
所迄お願い致します。同窓会とは末永く
お付き合ひの程、宜しくお願い致します。

ご挨拶



学校法人大阪学芸
理事長

伊丹 耕治

います。

学園の歴史は115年になります。ひとえに卒業生の皆様を始めすべての学園関係者のご理解ご協力の賜物と深く感謝しています。

現在の所の生徒数、大阪学芸高等学

校平素より母校への多大なる、ご支援、ご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

卒業生の皆様、私は前任の岡本理事長からバトンを引き継ぎ新理事長になりました。

宜しくお願いします。

本学園を1965年に入学し、その間生徒会会長を経験し1968年に卒業。

そして年月を経て45年ぶりに学園にお世話をになり、2013年に評議員をさせていただき、その後2016年再任となり、2017年に監事となり理事を経て現在に至っています。

皆様方には大変お世話になりました。これからは重要な責任をも担つていよいよ十分に認識しております。

今後は皆様のご意見を充分くみ取り、耳を傾け謙虚に学びたいと思って

立派な行動理念、持つている学園です。実践することが今こそ必要なことです。建学の精神では「学問を通じて実行に携わった経験はその後の人生に豊かな人間性を育み、社会に貢献できる自信をもたらし、かけがえのない青年を育成する」と記されています。

的的努力をすること。在校当時、生徒会長をしたときの事、文化祭の企画、実行に携わった経験はその後の人生に大きな自信をもたらし、かけがえのない財産となっていました。

三つ目は、「広い視野を持ってほしい

昨今新しいことにチャレンジをしお戦してまいりました、その甲斐あって

付属中学校204名（男子85名、女子119名）大阪学芸中等教育学校

463名（男子314名、女子149名）学園生徒総数は2734名となっています。

教職員の総数も200名を超えてお

り、いずれの教職員の方々は労苦を惜しまず、生徒の成長を自らの喜びとして、日々の教育活動に取り組まれ、立派な教職員の皆様方です。

少子化が下げ止まりを見せない中で、本学園は理想の教育を目指して常に教育環境の向上に努め、「大阪学芸で学びたい」という、生徒や保護者の支持を得てまいりました。その努力の成果がお陰様で30年度の志願者数は大阪で2番目となり、人気度の高い高校になっています。今年度、774名

い」日々から社会の出来事に関心を持ち、自分なりの考え方や判断力を磨くこと。

卒業生の皆様のこれまでの多大なる

コースが認可されれば、さらに学園はグレードアップするでしょう。期待してください。正に名実ともに伝統、学力、人気、共備わった学園になっています。

私は卒業生理事長として入学式の祝

辞で、新入生の皆さんに三つのメッセージを贈りました。

一つ目は「良き友人」を作ってくれ

さい。心から信頼できる友人が一人でも出来たら

皆さんの学校生活が大変豊かなものになるでしょう。友人との付き合いが

うことをしたいのか」よく考えて積極

ことになります。友人と付き合うことには、多くの困難があります。私自身が学んだことがあります。

最後に卒業生の皆様の一層の「活躍」と同窓会の益々の発展を祈願致しまして私の一年目のスタートに当たっての挨拶とします。



あいさつ



校長

森松浩毅

猛暑の候、卒業生の皆様には益々、健勝の事と存じます。平素は大阪学芸高等学校附属中学校にご支援いただき誠に有り難うございます。私は2018年4月より校長に就任しました。今後とも支援いただきますよう宜しくお願いいたします。

さて、私事ですが1988年に成器高校で採用され30年間数学科教員として勤務してきました。採用された年には木造の北校舎が残つていて、詰め襟の学生服でした。次年には総合校舎が建ち、ブレザーの制服になりました。それから30年の間には様々なことがありました。特に大きな変革となつたのは、現中等教育学校を設立し校名を大阪学芸に変更した1996年でした。高校では採用時の入学生が765人であったのが少子化の影響で1996年には410人と激減。2年後の男女共学となつた1998年には353人まで落ち込むことになります。様々な取り組みを行い、教頭・理事をさせていただいた10年間では特技コースや1年留学・特進看護コースを設置し附属中学校も設置するなどの取り組みを実施してきました。

同窓会との関係も10年前までは成器会という名前だけであったのを、私が理事のときには繋かりがあったと思います。そこで、「これから社会はあと10~20年で49%の職業が機械に替わる可能性がある」と言われています。そして、約3分の1の企業が外国人留学生を採用する時代がやってきます。この変化の激しい時代の中で活躍できる資質能力を育成する教育改革が行われようとしています。具体的には、学校での教育が「学んだ」とをきちんと理解しているかを評価し知識の分量をはかる教育から「知識の習得だけでなく自分で考え、表現し、判断し、実行する」ことが求められる教育にかわっていくと

いうことです。

それに伴い大学入試が変わってきます。

記述式の問題が増え、英語については今までの評価とは異なり「話す」「書く」という能力が問われるようになり、今まで以上にクラブ活動や課外活動が評価されるようになります。

それに伴い大学入試が変わってきます。記述式の問題が増え、英語については今までの評価とは異なり「話す」「書く」という能力が問われるようになり、今まで以上にクラブ活動や課外活動が評価されるようになります。

少子化も1998年以降も止まりず、現在の公立中学校卒業生数はピークの30年前の半数以下となっています。

本校では、附属中学校の生徒に対し特に英語教育を推進しており中学3年生では英語検定の準1級合格者が2名、2級合格者が4名、中学2年生でも2級合格者が7名、準2級合格者が11名となっています。

ときに同窓会と話し合い現在の大阪学芸同窓会(成器会)という形にさせていただいたのを思い出します。当時は同窓会規約も議論し決定しました。故和田貞夫元名誉会長や仲西晃名譽会長には特に可愛がついただいきました。左手道のつながりで、米田耕作会長や西野仁彦顧問とも昔から交流が有り、教職員の中でも同窓会とは繋かりがあったと思います。

さて、「これから社会はあと10~20年で49%の職業が機械に替わる可能性がある」と言われています。そして、約3分の1の企業が外国人留学生を採用する時代がやってきます。この変化の激しい時代の中で活躍できる資質能力を育成する教育改革が行われようとしています。具体的には、学校での教育が「学んだ」とをきちんと理解しているかを評価し知識の分量をはかる教育から「知識の習得だけでなく自分で考え、表現し、判断し、実行する」ことが求められる教育にかわっていくと

2019年には中学生が高等学校に入学していくこともあり、国際科(設置認可申請中)を設置する予定になっています。

国際科(設置認可申請中)にはダブルディプロマコースと1年留学コースの二つのコースがあり、1年留学コースはカナダ・オタワに留学するOGOP(OsakaGakugeiOttawaProgram)と「コーチーランド・ネルソン」留学するOGNP(OsakaGakugeiNelsonProgram)を中心に現在のシステムを進化させています。

ダブルディプロマコースとはカナダのブリティッシュコロニア州(B.C.州)の教育制度を取り入れた海外校(オフショアスクール)を本校の国際科(設置認可申請中)に設置します。B.C.州から認定された外国人の教員がB.C.州で行われている授業を本校で行うと共に、本校教員の授業をB.C.州の単位としても認めてもらいたい力ナダの高校の卒業資格が得られます。同時にB.C.州の授業を本校での専門学科で学校設定科目として単位認定することで本校の卒業資格も得ることが出来ます。

力ナダ(B.C.州)と日本の高校卒業資格を得る(ダブルディプロマ)を実施するコースとなります。

大阪学芸はさらに大きく変わろうとしています。本校は兄弟での入学やお父さんお爺さんが卒業生である生徒が多く入学しています。私学にとって本当に有難いことだと感じます。今後とも本校の教育内容を理解していただき、支援して頂けますよう、よろしくお願いします。

平成30年度PTA活動計画



PTA会長
平尾 政信

3月…入学式参列	3月…役員会	4月…入学式参列	4月…新旧役員懇親会(26日)	5月…PTA総会(12日)／学級委員会・新旧役員懇親会(26日)	6月…体育祭(19日)／1・2学年懇談会(23日)	7月…3学年懇談会(14日)／PTA新聞「きずな」(第159)発行	8月…公費助成運動の取り組み(～11月)	9月…文化祭(8日)	10月…社会見学・進路説明会(27日)	11月…PTA新聞「きずな」(第160)発行／公費助成運動の取り組み(～11月)	12月…新年会／私学振興大会	1月…新年会／私学振興大会	2月…卒業式参列(22日)／PTA新聞「きずな」(第161)発行
----------	--------	----------	-----------------	----------------------------------	---------------------------	-----------------------------------	----------------------	------------	---------------------	--	----------------	---------------	----------------------------------

このほか毎月の定例会に加え、風紀(下校)指導への参加等も予定しております。

本年度は、附属中学校も3学年がそろい、また、高校の1年生は19クラスと生徒数も多くなり、校内はこれまで以上に充実し、活気と熱気に溢れています。そんな

心情熱と希望に満ちた生徒の皆さん、安らぎしっかりと学び、またのびのびと学校生活を送り、自身の大きな夢に向かって踏み出すステップの助けになれるように、新役員、先生の皆様方と共に力を合わせて丸となって活動しサポートしていきますので、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが成器会の皆様のご健勝と益々のご発展を心よりお祈り申しあげます。



PTA役員一同

大阪学芸高等学校・附属中学校 募集対策部報告

募集対策部長 大植 佳彦

平成30年度入試結果と今後の傾向

この4月より、募集対策部部長という大役に就くことになりました。23年ぶりに高等学校に復帰したことになります。桧垣前部長からの引継ぎを見ながら、まずは30年度の入試を振り返ります。

「附属中学校」開校して3年目となり、ようやく中学3年生までがそろいました。80名募集に対して55名の入学となり、過去2年間に比べて減少しましたが、宿泊研修も終え、学校生活にも慣れてきました。これからが楽しみです。と同時に、中学3年生がいよいよ高校への進級となります。附属中学の生徒も高校受験がありますが、高等学校のそれぞれの「コースに進み、各コースで活躍してもらえた」と確信しています。附属中学は他の私立中学校とは一線を画し、受験の仕組みや入学後の教育活動も独自の路線を進めています。ブース説明会ではまだまだ中等教育学校とどう違うのですか、という質問を受けます。長年中等に在籍していた者としても、明らかに違うコンセプトを説明しています。また、最初から附属中学を考えておられる方も多く、そういう方々は附属中のコンセプトをよく理解していました

いています。その方々の話を聞き、附属中学校のニーズも徐々に増え、特別な受験勉強が必要ない、でも3年間でしっかりと成長する、理想的な健勝と益々の発展を心よりお祈り申します。

(高等学校)540名という募集人数に対し、19クラスで54名の入学生を迎えるました。これも校長先生をはじめ募集対策部を中心とした先生方の努力の賜物と敬服するとともに、部長としてのプレッシャーを感じています。数年前から選抜特

置、本校独自の1年留学制度の実施など、様々な改革が行われてきました。高校受験を目指す中学生にとって、これだけのコースや制度、またクラブ活動も盛んで、進コース・特技コース・特進看護コースの設置、本校独自の1年留学制度の実施など、非常に選択肢が広がり、人気が出てくるのも頷けます。また、高校に戻って実感しましたが、先生方はそうした生徒に正面から向かっておられ、生徒は充実した3年間を過ごすことが出来るのでしょう。そして更なる進化で、2019年の4月に新たに「国際科(設置認可申請中)」が誕生します。2つのコースが設けられます。一つはダブルディプロマコースで本校とカナダのブリティッシュ・コロンビア州の2つの卒業資格が取得できるコース。もう一つは1年留学コースで、従来の国際コースで行われていた1年留学をさらに進めたコースです。特にダブルディプロマコースは関西初で全国でも2校目となるコースで、まだまだ告知はこれからですが、ブー

ス説明会でも非常に興味を示された方がおられました。これで本校は「普通科」の6つのコース(選抜特進・特進理数・特進看護・特進・進学・特技)とあわせて2学科8コースということになります。受験生の選択肢は広がると実感しています。今後は「国際科(設置認可申請中)」の告知をしていかなければなりませんが、もちろん中核である「普通科」6コースの説明も今まで以上に募集対策部一丸となって募集活動を進めてまいります。

これまで様々な改革が行われてきたのも、少子化が進み高校受験をする中学生の総数が減少していく中、生徒を安定的に集めていくためです。昨年度入試では大きな成果がありました。慢心・油断することなく、危機感を持って募集活動を進めてまいりたいと思っています。そして、「生徒の進路獲得」に全力をそそぎ、卒業時に「大阪学芸」に来て本当によかったです」と感じてもらえたよう、魅力ある学校づくりに教職員の皆様の協力を得ながら、微力ながら関わって行きたいと考えております。また同窓会の皆様にもご理解いただき、「家族・ご親戚で中学受験・高校受験の方がおられましたら、ぜひ皆様の母校・大阪学芸を勧めていただければ幸いです。

高等学校・附属中学校とともにがんばつてまいりますので、今後とも寄り添うご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年度 大阪学芸高等学校主要大学合格一覧

国公立大	
大阪府立大	4
大阪教育大	2
奈良教育大	2
和歌山大	4
神戸市外大	1
兵庫県立大	1
秋田大	1
三重大	1
山口大	1
愛媛大	2
琉球大	1
合 計	20

私立大（関西圏）	
同志社大	17
関西大	31
関西学院大	19
立命館大	8
近畿大	78
甲南大	12
龍谷大	48
京都産業大	6
関西外大	19
京都外大	5
大阪経済大	20
大阪工大	41
同志社女子大	8
京都女子大	3
摂南大	74
武庫川女子大	5
桃山学院大	54
神戸学院大	24
追手門学院大	11

私立大（関西圏以外）	
明治大	1
中央大	1
法政大	1
日本大	3
駒澤大	2
専修大	1

私立大（医療系）	
関西医療大	8
森ノ宮医療大	5
千里金蘭大	1
兵庫医療大	3
大阪歯科大	2

現役生・既卒生合計の「のべ」人数

大阪学芸中等教育学校だより

柴田俊次

大阪学芸中等教育学校 校長

同窓会の皆様には、平素より中等教育学校の教育活動にご支援を賜り厚くお礼申しあげます。生徒募集につきましては、大阪学芸高校附属中学校の開校にともない、3年前から募集人数を80名としました。この数年の中学校受験を取り巻く状況は、入試の短期化・早期化、そして午後入試の増加により、大きく展開されています。また、小学生の児童数も微減傾向にあり、入学生の確保については厳しい状況が続いています。同窓会の皆様のお子様、お孫様、また小学生のおられるお知り合いの方に本校をご紹介いただければ幸いです。本校の教育内容ですが、「学力向上」と希望進路の獲得」が大きな目標ですが、将来子どもたちが社会を「生きぬく力」を育てるには、教科の授業以外の取組みも大切です。基本的な生活習慣の確立と併せ、心の成長を支えていくことで集団として成長させていきたいと思います。この事が生徒のやる気を引き出し学力向上につながると考えます。日々の授業内容を工夫改善し、「わかる喜び」「学ぶ楽しさ」を実感させいる授業づくりに注力するのはもちろんのことですが、「学力向上」及び「生きぬく力」の育成に向け様々な取り組みを行っております。

まず、「国公立大学合格支援プログラム」です。長期休業中のセミナー・夏期合宿、管理自習室の開設、ハイレベル指名講習などの取り組みも行っています。無駄のない6年完全一貫のプログラムを組むことで、系統だったきめ細やかな指導を行っていき、進路に対する意識を高め、学力向上に結びつけていきます。また、今年度より生徒個々のニーズに合わせた学習環境を整えるためにインターネットを利用した学習システムの導入を始めます。

次に、総合的な学習の時間「学芸ESD」や「学問探求団RYS」の取り組みです。平素の授業で行う「学芸ESD」では、視野を広げて自ら行動できる人を育てるために、1年からテーマに沿って様々な取り組みを実践しています。学問探究団「RYS」では、「論より証拠」をスローガンに企業や大学・研究機関等を訪問し、最先端かつリアルな社会を体験することで知的好奇心を刺激し自ら学び続ける姿勢を身につけさせるように努めています。

これらの活動で身に付く表現力や思考力、主体性や協働性は高大接続改革と密接に関わっており、このような学力が今後小論文や面接などに活かされると考えます。教科の授業のみならずさまざまな取り組みを通じて、6年間の中で自分が将来を見つめ進路目標を実現していくというキャリア教育の視点を持ち、今後も取り組みを充実させてまいります。

同窓会の益々のご発展を祈念いたしましてとともに、今後とも大阪学芸中等教育学校をご支援いただきますようお願い申しあげます。

大阪学芸中等教育学校報告

平成29年度 大阪学芸中等教育学校 大学入試結果(抜粋)
卒業生徒数(17期)103名 平成30年3月31日現在(現浪含む)

国公立大学

大 学	学部・学域	人 数
大阪府立大学	生命環境科	1
和歌山大学	観光	2
和歌山大学	経済	1
兵庫県立大学	経済	1
岡山大学	法	1
島根大学	総合理工	1
県立広島大学	生命環境	1
富山大学	人間発達科	1
茨城大学	工	1
(短) 三重短期大学	法経	1
(短) 岐阜市立女子短期大学	国際文化	1
合 計		12

私立大学

大 学	のべ人数
大阪医科大学(医・医)	1
関西医科大学(医・医)	1
大阪薬科大学	1
大阪歯科大学	1
東京理科大学	1
同志社大学	1
立命館大学	6
関西大学	6
関西学院大学	2
近畿大学	24
京都産業大学	2
甲南大学	1
龍谷大学	1

また坂地は全日本ナショナルチームにも選ばれ、国際試合に日本代表として出場、アジア大会では銅メダル、東アジア大会では金メダルを獲得し、今年10月にアルゼンチンのブエノスアイレスで行なわれる「ユースオリンピック」への出場を目指しています。

また附属中学校は、8月に山梨で行われた全国中学大会(全中)で女子団体組手と団体形で第3位、男子団体形で第5位に入賞。3月の全国中学センバツ(彩の国杯)では男子個人形で大成輝波(3年)が準優勝。さらに、女子個人組手

空手道部は今年度から中学35人、高校65人の合計100人で中高とも全種目での全国優勝を目指して毎日練習しています。

昨年度、高校は夏のインターハイで女子団体組手と学校対抗の部で3位入賞を果たし3月の全国センバツでは、女子団体形で3年ぶり3回目の優勝、女子個人組手では坂地心(2年)が初優勝しました。これで空手道部の全国優勝は8回のことでした。

空手道部は今年度から中学35人、高校65人の合計100人で中高とも全種目での全国優勝を目指して毎日練習しています。

空手道部は今年度から中学35人、高校65人の合計100人で中高とも全種目での全国優勝を目指して毎日練習しています。

空手道部は今年度から中学35人、高校65人の合計100人で中高とも全種目での全国優勝を目指して毎日練習しています。



高等学校・附属中学校 空手道部紹介



高等学校・附属中学校 空手道部の皆さま

A black and white portrait of a middle-aged man with dark hair and glasses, wearing a suit and tie. The portrait is set within a decorative frame consisting of two concentric green scrollwork borders at the top and bottom.

顧問
安永和男
(元校長)



感動の人生・90年 ＝感 謝＝

A black and white portrait of a middle-aged man with short, light-colored hair. He is wearing a dark suit jacket over a white collared shirt and a patterned tie. The portrait is set within a decorative frame featuring intricate green scrollwork and floral motifs.

顧問 藤井昭三

平成30年4月29日安永先生が春の叙勲で瑞宝双光章を授与されました。これを記念して、執筆をお願いした文章を掲載しました。

本校が男女共学になつた頃

安永和夫
あの頃は全国的に生徒数が減少しており、それは今日でも変わらないのであるが、本府では当時中学校卒業者数を公立と私立の高等学校の募集人員への配分比率をほぼ七対三の割合で算定していた。この比率をベースに中高連では、各高等学校の募集定員を定めて、各高等学校に配分していた。

論議してもらひた。すぐには賛意は得られなかつたが、ねばり強く主張して行つたこともあつて、国際コースの設置といふことにして、例外的に若干名の女子の募集が了承された。

一方、この頃、中学と高校の六年貫教育とする中等教育学校が新しい制度として出来ていて、府の私学課でもその設立を勧めていたこともあって、本学園ではこの制度を積極的に取り入れることにした。

高等学校の方は共学にするため、女子更衣室、保健室、女子便所など連の施設が必要で、校舎の一部を改装して設置され

高等学校の方は共学にするため、女子更衣室、保健室、女子便所など一連の施設が必要で、校舎の一部を改装して設置された。

はじめは女子学生はわずかな人数であつたが、平成十年四月に、本校は男女共学の大坂学芸高等学校として、その第一歩を踏み出した。

その後は、時のすう勢もあって私立の男女共学の高等学校が増加して行ったのは周知のとおりである。

校五年生担任の龜山巖先生(故人)はたのみこんでいました。幸いにも、大阪の弁護士事務所で書生として昼夜働きながら夜学に通つてもよいという話がもたらされました。全く奇蹟でした。

昭和15年3月、鬼崎村立鬼南小学校(当時義務教育は小学校まで)を卒業すると同時に上阪しました。弁護士先生の知人が成器商業学校の卒業生でしたので、全て準備をして頂き、上阪と同時に受験し、約2倍の競争率でしたが無事合格しました。

当時、学帽があつて、丸い縁どりの帽子をかぶるのが本当に嬉しくもあり、自慢でもありました。

学校生活は、今までと全く変り、その変化の大きさに順応することが大変でした。新しい学友もでき、今までにない、苦しくても亦楽しい毎日を過ごしていました。当時は極度な食糧不足で、田舎出の私には、配給のものだけでは、お腹が減つて仕方がありませんでした。

学校には一階に食品部があり、先着の何人

昭和20年3月、五年間の学生生活を終りました。官から電氣前進や階段訓練などを受け、
しようとした3月13日夜、大阪大空襲があり、学校は全焼しました。その二週間後の卒業式は焼跡で惘然とするばかりでした。勿論、卒業証書は焼かれてなく、戦争の過酷さを、しみじみと感じた次第です。

卒業後の進路については、予め準備をしていた夜間部のある日本大学・大阪専門学校(現在近畿大学)に合格しました。三年後、関西大学法学部政治学科(昼間部)に進学し卒業しました。

この間の学生生活が、その後の私の人生に大きく寄与したことは、いつまでもあります。成器商業学校に感謝し、多くの友人に感謝し誠練を与えてくれた時代に感謝する次第です。これからは、人生百年時代、この感謝の気持ちを社会におかえしていきたいと思っています。

継続は力なり——続・落語と私——同窓会顧問

猪瀬正雄

三太夫 「ははあー。恐れ入ります。…とき
に、殿、米を「合炊く」ときの水加減
はいかがいたしましょ?」
殿様 「なに、二、「合じや」と?…」「合のと
きは…両手を入れるのだ。」

幽靈 「夜中は」わい。」
「うちよつとも」わないわ。
幽靈なんて真っ暗い夜中に橋の袂の柳
の下にボーッとするさかいこわいん
や。夜中にそゆどりに出て「」い。」

今回は、落語、とくに小噺を思いつゝまま
に取り上げてみます。どれか覚えて宴席で「
披露しては?」

(その一) タケノコ医者

医 「どーですか? 食事は探れてますか?」
患 「それがねセンセ。朝晩・食間といろん
なお薬飲んで、そのたんびに、お水もた
くさん飲むでしょ。だから薬とお水でお
腹がいっぱいになつて、「」飯があまり食
べられないんですよ。」

医 「そらあ弱りましたな。それなり、今日
は、ひとつ、いい消化薬を処方しておき
ましよう。」
患 「こんなのは、まだ藪にもなれない危ない
医者でして…。要注意!」

患 「せんせい、近頃物忘れがひどくなりまし
てな。」
医 「そりやー、お困りでしょ。で、いつ頃
患 「えつ、何の話で…?」

(その二) 物忘れ

男A 「おい、飲みに行」う」
男B 「それがね、ダメなんだ。」
男A 「え? そらまたどーして?」
男B 「今日から三日の間、酒飲まない」とこ
したんだ。」
男A 「なんだそんないとか。それなら六日の



(その四) お殿様

天下泰平の世、お殿様は、お城の中でポン
ヤリと暮らしています。そつなんど、「庶民の
暮らしなんか分からぬ世間知らず」と陰口を
たたかれます。そんな噂が耳に入ると、面白く
ありません。そこで、少しでも世間のことを探
る、家来どもを集めて、自分で世間のこと
とは知つていて、と自慢したりします。

三太夫 「あー、皆のものよく聞け。世間では米
を合炊くときの水加減はどのくらい
か存知あるか?」
三太夫 「恥ずかしながら存じませぬ。」

番頭 「なんだ、情けない奴じゃ。米を一合
炊くときは、釜の中に手を広げて入
れて、水はぐるぐるのと」までじや。
分かつたか。よく覚えておけ。」

(その五) 田口の経つのは

男B 「間、半日飲まなければいい。」
男B 「……」

三太夫 「さすが殿、三合炊くともは?」
三太夫 「ほはあ。おそれ入ります。
されば殿、三合炊くともは?」
三太夫 「さつ、三合のとおはな…、わいに足を
入れる。」

(その六) 田口の経つのは

旅をしてます。
お田さんとお田さんとカミナリさんが三人
ある宿に泊まって翌朝、カミナリさんは起
きてくると、お田さんとお田さんが見当たり
ません。そりや、番頭に
カミナリ 「おい、番頭、お田さんとお田さん
が見当たらぬが…。」
番頭 「はい、お一人ならとつに立ちまし
た。」
カミナリ 「なんと…。やはり田口の経つのは
早いものだ。」
番頭 「ときには、カミナリさんほどへれ
ます?」
カミナリ 「そうだな。わしは暫くアロアロし
て、タ立ちとするが。」

えーっ、昔、ネズミが原因と思われる伝染
病が流行った頃のお噺です。
その頃、ネズミを捕まえて役所に持つてい
くと、大きさに応じて賞金を貰えたんだそう
です。大きい方がいいし、払う側の役所の方は出
費を抑えたい。
そんなやりとりです。

男 「えーっ、大ネズミを捕まえたんでもつ
てきました…。ほらっ、大きいでしょ
う?」
役所 「はい、それは」若狭さん。えつ?
のネズミですか? …あなた、これは
小さいですね。」
男 「なに言ってるんだよ。これは大きい
よ。」
役所 「いや、あなた。これは小さいです
よ。」
男 「男と役所が「大きい、小さい」と言い争つ
ていると間でネズミが
「チュー(中)」
お後がよろしいようで…。」

(その七) ネズミの大きさ

幽靈 「えーっ、うらめしやー。」
町人 「なんやて? うらめしや? 近くに飯屋
でもできたんか? おまえチラシ配り
のにいちゃん?」
幽靈 「そんなんちやいます。さて幽靈でつ
せ。…」
町人 「ゆうれい? …あつ、ほんまや。足があ
らへん。せやけどおまえ、こんな明る
い毎日中に入通りの多いと」出てきた



平成30年度同窓会及び学校主行事の予定表

NO	日 時		行 事	場 所
1	(平成30年) 4月4日(水)	AM10:30 PM 2:00	入 学 式 〔中学 55名 高校 775名 計 830名〕	ホテルニューオータニ
2	4月21日(土)	PM 2:30	第1回役員会	同窓会室(アソシエ1号館3F)
3	5月12日(土)	PM 2:30	第2回役員会	同窓会室(アソシエ1号館3F)
4	5月26日(土)	PM 2:30	第3回役員会	同窓会室(アソシエ1号館3F)
5	6月9日(土)	PM 3:00 PM 4:00 PM 5:00	第4回役員会 定期総会 春季懇親会	なんば道頓堀ホテル
6	6月16日(土)	PM 2:30	第5回役員会	同窓会室(アソシエ1号館3F)
7	6月19日(火)	AM 9:00	体育祭	大阪市立中央体育館
8	6月30日(土) 7月5日(木)	午後 午前	第23号会報誌 完成 第23号会報誌 発送	株式会社ヒラックス
9	8月4日(土) 5日(日)	PM 5:00 AM10:10	高野山普賢院宿泊 慰靈碑参拝・野迫川温泉	高野山普賢院 奥の院・野迫川温泉
10	9月1日(土)	PM 2:30	第6回役員会	同窓会室(アソシエ1号館3F)
11	9月8日(土)	AM 9:00	文化祭	大阪学芸高校内
12	10月13日(土)	PM 2:30	第7回役員会	同窓会室(アソシエ1号館3F)
13	11月3日(土)	PM 3:00 PM 5:00	第8回役員会 秋季懇親会	ニューミュンヘン南大使館
14	12月15日(土)	AM10:00	校祖祭	大阪学芸高校ロビー
15	(平成31年) 1月19日(土)	PM 5:00 PM 5:30	第9回役員会 役員新年互礼会	天王寺都ホテル(17Fエトワール)
16	2月21日(木)	AM11:20	同窓会入会式(役員委嘱状授与式)	大阪学芸高校体育館
17	2月22日(金)	AM10:00	第114回卒業式	大阪学芸高校体育館
18	3月9日(土)	PM 2:30	第10回役員会	同窓会室(アソシエ1号館3F)

行 事 報 告

平成30年度定期総会・懇親会

総会 副会長 上野寅次郎

四、平成30年度行事計画案
副会長田中敏文

五、平成30年度予算案

六、役員改選会

計氏田隆夫

会長米田耕作

七、会則改正会

長米田耕作

平成30年6月8日(土)午後4時より道頓堀ホテルに於いて、定期総会を開催いたしました。

司会の川原実会計監査の開会宣言で、米田耕作会長の挨拶にはじまり、続いて森松浩毅校長先生より学事報告がありました。

現在、在籍生徒数は附属中学生と高等学校を合わせて2,271名とのことです。募集対策関係のお話では2019年に国際科(設置認定申請中)を開設予定する」と、修学旅行や語学研修等の行事関係のお話しがあり、続いてクラブ・特技活動では空手道部が選抜大会で女子団体形と、女子個人組手競技でも優勝、また女子サッカー部でも大阪府春季サッカー大会で優勝を果たしたと報告があり、益々の学校発展が期待されるところです。スピーチを賜わりました。

挨拶の後、議案審議に先立ち、議長には竹田喜久常任幹事代表、副議長には上野寅次郎副会長が選出され議案審議に入りました。

一、平成29年度活動報告
副会長松田和人

二、平成29年度決算報告
会計氏田隆夫

三、平成29年度監査報告
会計監査大橋秀志

審議の結果、1～6までの議案は可決承認されました。

「7の会則改正は附属中学校の件で学校側よりご意見があり採決は行いませんでした。仲西晃名誉会長の挨拶で総会は終了しました。

懇親会

同日午後5時より同場所に於いて76名が参加され、衣斐雅一副会長に懇親会の司会をお願いし開催されました。

はじめに米田耕作会長の挨拶から始まり、続いて伊丹耕治理事長から挨拶があり、私は卒業生理事長として入学式で新入生の皆さんに三つのメッセージを贈りました。一つ目は「良き友人」二つ目は「自分は大阪学芸でどういうことを学びたいのか」三つ目は「広い視野を持つて欲しい」と話されました。

PTA会長平尾政信様からは、昨年も書記をしており本年も宜しくとのご挨拶を賜わりました。

続いて、藤井昭三顧問の力強い乾杯の音頭で宴が始まり、同窓生と談笑、お馴染みのビンゴゲームも大変盛り上がり、楽しいひと時を過ごしました。

最後に上野寅次郎副会長の閉会挨拶で終りました。



平成30年 総会・懇親会出席者

高野山普賢院一泊と ホテル野迫川温泉旅行

会計監事 大橋秀志



例年通り、平成29年8月5日(土)～6日(日)に高野山普賢院1泊と慰靈碑参拝ホテル野迫川温泉の旅が執り行われました。

毎年思う事ですが、高野山に着いた時大阪との気温の大差には『ホッ』とするひと時です。

今年度の参加者は、普賢院宿泊者8名、慰靈碑参拝者(早朝より参加)5名、山田勝比古様・田中正太郎様 初参加頂き感謝いたします。

夕食後は、部屋での2次会
経験豊かなお詫やじ苦労もお聞きしました。
時間の過ぎるのも忘れ楽しい夜を過ごしました。

早朝には、全員で「勤行」に参加、ご本尊の前で手を合わせ皆様の健康と安全を祈願し日の始まりを感じました。
奥の院参拝の後、皆様と合流し普賢院僧侶の読経の中慰靈碑に焼香礼拝「同窓会先人の感謝・学園・同窓会の発展」を祈願しました。

迎えのバスにてホテル野迫川温泉へ。川を見下ろせるお風呂、お肌がすべすべになる「美人の湯」に入湯。アマゾンゴムの匂いに舌つづみを打ちながらの楽しい会話。あつという間の至福の時間を過ごせました。

その後、南海電鉄高野山駅まで送つていただき解散帰路に着きました。
(心穏やかな時を過ごせました。)

次回は、平成30年8月4日(土)～5日(日)予定しております。
皆様の多数のご参加をお待ちしております。

普賢院での夕食時米田会長のご挨拶では、「同窓会の運営に充たり皆様方の参加とご協力のお願い」「これから慰靈碑参拝者の多数参加」を推進されておられます。
*慰靈碑参拝の多数参加に対してもアイデアを聞かせて頂きたいとの事です。



高野山参拝旅行参加者

平成29年度 秋季懇親会開催

常任幹事代表 竹田 喜久



平成29年11月4日(土)午後5時より

ニューミュンヘン大使館において62名の
参加をいただき、秋季懇親会が開催され
ました。

ご来賓として学園から岡本利雄理事
長、佐藤精治校長、理事の先生、教職員、
OBの先生方のご出席をいただきまし
た。

司会の衣斐副会長より、開会宣言に始
まり、物故者への黙祷、米田会長の挨拶に
続き学園を代表して岡本理事長の挨拶、
佐藤校長からの学事報告に出席の皆さん
は大いに関心を寄せていました。その後、
直ちに記念撮影に入り終了後、仲西名誉
会長の開宴の挨拶、藤井昭三顧問の音頭
で乾杯、しばしの歓談となりました。

各テーブルからは学生時代の思い出話
しかり近況報告まで話題には事欠かずお
おいに盛り上がっておりました。

宴も闌、本年度活躍した卓球部と女子
サッカー部に米田会長から奨励賞が贈呈
されました。それぞれの部員の皆さんとの
今後の活躍を期待します。

恒例となりました、ビンゴゲームもまた
おおいに盛り上がり、豪華賞品をGET
出来ると喜びもピークに達してました。
終始和やかなムードで時間の経つのも忘
れて楽しい、とき、を過ごしました。

校歌合唱、万歳三唱と終宴が近づき、ま
た来年も多数の出席をお願いし、松田和
人副会長の挨拶で無事懇親会も閉会しま
した。



米田会長の挨拶



秋季懇親会 出席者

平成30年 大阪学芸同窓会(成器会) 役員新年互礼会



役員新年互礼会 出席者

平成30年1月20日(土)17時30分、天王寺都ホテル17階エントアールの間で平成30年役員新年互礼会を開催しました。当日は二十四節氣の一つ大寒の一番寒い日とされていますが、大変穏やかな天気であり役員22名が出席し、新年の門出を祝いました。

互礼会の前に第9回役員会を開催し、現在河南町議会議員の加藤久宏氏が平成4年卒の常任幹事副代表として頑張っていただくことが決定しました。

新年互礼会の冒頭、米田耕作会長が「今日の歴史と伝統ある学園の同窓会を築いてこられた先輩諸氏に敬意を表し、最後に同窓会サービスに努め、さらに活力ある同窓会実現のため、ご支援・ご協力をお願いします。」と述べ、新年のお祝いと挨拶をしました。その後、仲西晃名誉会長、各顧問の紹介そして山本英雄顧問の挨拶とつづきました。

懇親会は藤井昭二顧問の乾杯の音頭で始まり、今年もますます元気に活躍することを誓いました。途中ゲームとしてお年玉プレゼントがあり一喜一憂する場面もありましたが、大変有意義な時間

を過ごすことができました。

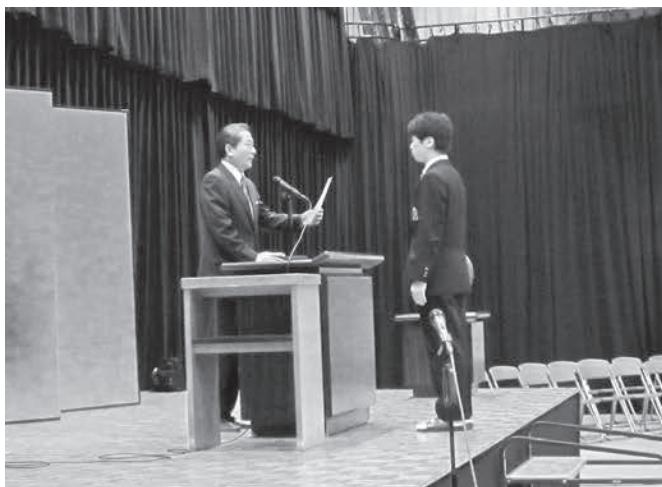
最後に井関和彦顧問の万歳三唱、上野寅次郎副会長の閉会の挨拶で終りました。



(天王寺都ホテルを使用するにあたり、昭和57年卒常任幹事副代表の篠崎秀夫氏に大変お世話になりましたことを追記させていただきます。)

同窓会入会式

同窓会会长 米田 耕作



第113期卒業生の同窓会入会式は、平成30年2月21日（水）に本校体育館で、卒業式の前日に行われました。同窓会から私の他に上野、衣斐両副会長と氏田、神藤両会計の5名が参加しました。今年の卒業生は昨年より1クラス、そして85名少ない15クラスの571名（男子259名、女子312名）です。私達は11時30分迄控え室で待機し、山田先生の

案内では会場入り、11時45分から12時10分迄の25分間の時間を頂きました。登壇した私は重々しく一礼を交わし、次に選ばれた幹事45名の代表として、同窓会副幹事代表の佐官雄介さんに委嘱状を手渡しました。彼は自治会会长をし、皆勤賞を頂く程の責任感の強いリーダーで、同窓会役員の資質充分の人です。続いて幹事並びに卒業生達に対し「幹事はクラスの同窓会をやり、期が熟すと同期同窓会をやつしてください。その都度、副幹事代表は学校同窓会に連絡を取ります」といまは同窓会で継続審議中ですが、2年後には皆さんのが成人した時に集まる会を企画しております」と話をまとめました。

彼達は熱心に未聞のものに耳を傾けていました。

学年団の先生方も当然の如く聞いておられ、私はこの事は決して企画倒れにしてはならないと、心に言い聞かせました。気品・学徳を備えた礼儀正しい、この紳士と淑女とそれらを育てた恩師達に一礼を済ませ降壇し、良き先輩を最後迄演じ乍ら会場を後にしました。



同窓会入会式(体育館)

卒業生の近況報告

- **三村 正治**(昭和16年卒) 病気療養中
- **山田 能生**(昭和19年卒) 腰椎骨折後のリハビリのため、欠席させていただきます。
- **安岡 幸次郎**(昭和19年卒) 91歳を迎えて、何とか日々過ごしています。今日は腰痛のため欠席します。悪しからず。
- **高田 良造**(昭和23年卒) 当日別件にて会議があり、出席の申し込みを致しており残念ながら欠席致します。皆様によろしく御伝言下さい。
- **井原 靖一**(昭和25年卒) 体調不良で静養中
- **北本 喜一**(昭和25年卒) 介護ディサービスにて通院して居ります。毎日元気に過ごして居ります。御配慮有難う御座います。
- **吉田 秀勝**(昭和25年卒) 今の自分は最高の恩師友人を得たことにあり、感謝と懐かしさが走馬灯のように頭の中を廻っています。70年近く前のことだと鮮明に浮かびます。
- **横野 泰弘**(昭和32年卒) 年金生活者で…
- **岩坪 勝**(昭和34年卒) 卒業後、59年にもなる。一年の時、全国珠算大会で名古屋へ。大会後「三保の松原」へ松原から富士山と駿河の海を見た。圧倒されたので波打ち際に立ち、海と富士の山の美しさに見とれいたら、突然大波を身体に受け止めていた。
- **米田 孝**(昭和34年卒) ゴルフを楽しんでいます。週2~3回の練習場と毎月1~2回のラウンド継続中です。
- **山本 達郎**(昭和34年卒) 何とか元気で過ごして居ります。
- **内海 春樹**(昭和36年卒)

金剛山登拝を始め丁度15年3000回達成しました。

● **樋口 正道**(昭和43年卒)

出張の為出席できません。又、よろしくお願ひします。

● **藤原 啓造**(昭和43年卒)

健忘症が段々とひどくなり候

● **中川 善夫**(昭和44年卒)

週3日のパート暮らしです。

● **石井 茂**(昭和46年卒)

今年3月31日で退職し、ただ今充電中です。

● **倉山 富夫**(昭和46年卒)

まだ仕事、やっています。

● **船井 收**(昭和46年卒)

65歳になるも、月々金通常勤務中。事務職

● **西川 元治**(昭和38年卒)

今の所元気に毎日生活しています。

● **前川 勲**(昭和38年卒)

オケ月1回

● **鷲田 繁治**(昭和42年卒)

卒業して52年。年に2回クラス同窓会開催。

● **柏原 玉男**(昭和39年卒)

皆さん、味のある年輪を刻んでいます。

● **寺田 俊三**(昭和48年卒)

白内障手術を実施、約50年ぶりにメガネなしの生活となりました。

● **移林 良**(昭和48年卒)

卒業時のクラスの正式な同窓会が無く、連絡

● **矢野 雅弘**(昭和50年卒)

3月で東京土建一般労働組合の執行委員を

● **石田 佳志**(昭和52年卒)

3月で東京土建一般労働組合の執行委員を退任しまして、4月より練馬民主商工会の活動を始めました。

● **北 勝善**(昭和55年卒)

6月7日までの間まで研修旅行で参加できません。

● **梅林 貞夫**(昭和55年卒)

毎日リハビリに励んでいます。谷口先生、お

● **天川 俊夫**(昭和43年卒)

元気にしております。

● **大今 雅裕**(昭和43年卒)

何とかがんばって生きています。土曜日は病院の日ですので、欠席します。

● **出口 武雄**(昭和43年卒)

両親の介護

● **中尾 和正**(昭和43年卒)

リタイヤして10年が過ぎました。今のところ健康状態は良好です。会社OB会の事務局をしていましたので多忙です。同窓会には出席しませんが、会の発展を祈願申し上げます。

● **西田 泳市**(昭和43年卒)

心臓の手術を約1年前に受け、現在リハビリ中です。

教職員OB・OG近況報告

- **久米 藤馬**先生 会の発展を祈っています。今回も出張で来れません。よろしく。(会長、テレビ観ました。)
- **鈴木 清**先生 熊取町社会福祉協議会の事業に協力させて頂いています。毎日忙しくしています。
- **武田 一仁**先生(元校長) 5月下旬にボストンのライシャワー日本研究所(ハーバード大学)で研究員をしている次男の所に家で出かけます。あいかわらず、腰痛に悩んでいます。益々の同窓会の発展を祈念しています。
- **谷口 隆**先生 1200世帯の元町内会(自治会)会長経験者として、評議員に任命され、地域コミュニティー発展のため頑張っております。
- **中路 悟**先生 今年74歳。庄迫骨折をおこし、少し痛みあります。リハビリ中です。無理ができないなりました。
- **原田 敬三**先生 元気でやつております。卓球部の練習試合など、今でもお世話になつております。
- **藤本 恭作**先生 皆さんによろしく。
- **渕上 英範**先生 60も近くなつてくると若い時は違いますが、大きな病気もなくありがたく思つております。
- **三原 和信**(平成3年卒) 元気です。仕事の異動があり、日々覚えることが増え、忙しく過ごしています。
- **武知 茉穂**(平成28年卒) 大学のオープンキャンパススタッフとして活躍し、次年度の教育実習に向けて勉強しています。
- **池田 喜久美**先生 煙仕事で今はイチゴ、玉葱収穫と日々多忙で頑張っています。
- **和田 國昭**先生 週休は3日までがいいようです。
- **前川 啓治**先生 まだ講師しています。65歳まであと2年。まだまた働くないと…と思っています。

現職の先生からコメント

はじめに
現職の先生方から「メントをいただく前に、少しだけ近年の学校の様子を」紹介いたします。

(パソコン部顧問)
4年ぶりに担任を持ちました。4年前とは隔世の感あります。なれないiPadの操作に翻弄されつつも、元気でやってあります。

3学年揃い、堀井哲史学年主任のもと、
2クラスずつで構成されています。

高等学校

2年生は井尻真美子学年主任のもと、クラスで構成されています。森本健先さんが副主任兼任担任として入られました。163年生は井尻真美子学年主任のもと、16クラスで構成されています。

●学校付近に大掲示板設置

平成29年度卒業生の保護者の皆様方より、卒業記念品として学校付近に生徒の活躍を外部の方にも見ていただけるように、大掲示板が設置されました。（現大喜の向かい側に設置）様々なクラブ活動の活躍や特技活動の報告などが掲載されています。お立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。

●現職の先生からコメント

富士明先生
(1年10組担任・特進)
(国語科・教務部)

川合 大輔先生
(平成26年度卒)
(社会科・自治会
大阪学芸高校を
卒として大阪学
として勤めさせ
まだ始まつて数処
が、4年前まで(今
では面白い先
い職場になつてい

川合 大輔先生
(平成26年度卒)
(社会科・自治会)
大阪学芸高校を卒業して4年が経り、新卒として大阪学芸高校で社会科の教師として勤めさせていただいております。まだ始まって数週間しか経っていませんが、4年前までの自分たちの学び舎が、今では面白い先生方がいらっしゃる楽しい職場になっています。

初めて受験生の担任を持ち、忙しい毎日を送っております。

平成30年度 役員名簿

部活動報告

平成29年度

ここでは各クラブの主な活動実績を中心
載せております。詳細につきましては、学校
HPにてご確認ください。

吹奏楽部

- 第29回 大阪府マーチングコンテスト
金賞（代表）
- 大阪府吹奏楽コンクール中地区大会
金賞（代表）
- 大阪府吹奏楽コンクール
銀賞
- 第30回 大阪府マーチングコンテスト
金賞（代表）
- 第45回 関西マーチングコンテスト
銀賞
- 大阪府アンサンブルコンテスト
金管8重奏 金賞（代表）
- 第44回 関西アンサンブルコンテスト
金管8重奏 銀賞
- 第16回 アジアジュニア&カデット空手道
選手権大会



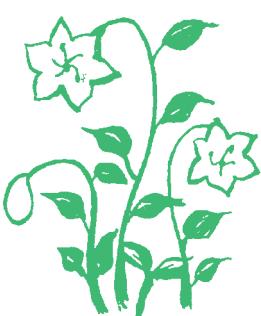
空手道部（高等学校）

- 第25回 全国中学生空手道選手権大会
女子団体組手・団体形 第3位
- 第44回 全国高等学校総合体育大会
空手道競技
男女団体形 第5位
- 大阪府私学総合体育大会空手道競技
男子個人形 優勝 大西 輝波（2年）
准優勝 高尾 隆希（2年）
- 第27回 近畿中学校空手道選手権大会
男子団体形 優勝
女子団体形 第3位
- 第40回 大阪府私立高等学校空手道
選手権大会
女子総合成績 優勝
男子団体形 準優勝
男子団体組手 準優勝
男子総合成績 準優勝
- 第48回 大阪府高等学校空手道選手権大会
(春季大会)
女子団体組手 優勝
女子個人組手 優勝
女子団体形 第5位 辻 紫帆（1年）
準優勝 坂地 心（1年）
- 第48回 大阪府高等学校空手道選手権大会
(秋季大会)
女子団体組手 優勝
女子個人組手 優勝
女子団体形 第3位 河原 恵（2年）
準優勝 男子総合成績 準優勝
男子団体形 準優勝
- 第72回 国民体育大会（愛媛国体）空手道競技
男子個人形 第3位 松下 秀助（3年）
高尾 恒輝（2年）
- 第5位 松下 秀助（3年）
田中 透也（2年）
- 第10回 世界ジュニア＆カデットアンダーアンダーワン
空手道選手権大会
ジュニア女子組手（-59kg級）
第3位 坂地 心（1年）
世界大会初出場
ベスト8 坂地 心（1年）
- 第41回 大阪府高等学校空手道新人大会
女子団体組手 準優勝
男子団体組手 第3位
女子団体形 準優勝
男子団体形 準優勝
女子個人組手（-53kg）
第3位 木村 果南（2年）
第5位 高崎 翠世（2年）
女子個人組手（-59kg）
第3位 山内 美穂（2年）
坂上 果穂（2年）
- 第5位 松下 秀助（3年）
田中 透也（2年）
- 第3位 中川 連（2年）
男子個人組手（-61kg）
第3位 京極 立（2年）
川本 健太（1年）
- 第3位 中川 連（2年）
男子個人組手（-68kg）
第3位 京極 立（2年）
川本 健太（1年）
- 第3位 田中 透也（2年）
男子個人形 第3位 田中 透也（2年）
- 第16回 アジアジュニア&カデット空手道
選手権大会
少年男子形個人戦



空手道部 (附属中学校)

選手権大会



故白川静先輩の経歴

や、インタビュー・対談などを収録した
「桂東雑記」(一・二)を刊行し、活躍した。
2006年10月30日死去。享年96歳。

白川静(しらかわしづか) 1910年
(明治43年)4月、福井県足羽郡佐佳枝町
(現在の福井市中心部)で生まれる。文学
者。立命館大学名誉教授。文字文化研究
所所長理事長。

1923年、順化尋常小学校を卒業後、広
瀬徳蔵(のちの民政党代議士)の事務所に住
み込みながら成器商業夜間部(現大阪学芸
高校)で学ばれ、この頃に、広瀬の蔵書を読
み漁つて漢籍に親しみ勉強をしていった。

立命館大学専門部国漢科を経て、立命館
中学校教諭になり、その後、立命館大学法
文学部漢文学科に入学。同大学予科教授と
なる。1954年からは立命館大学文学部
教授を務め、1962年、博士論文「興の研
究」で、文学博士号を取得(京都大学)。

1981年には名誉教授の称号を受けた。
漢字研究の第一人者として知られ、漢字
学三部作【字統】(1984年)、【字訓】
(1987年)、「字通」(1996年)は白
川先生のライフワークの成果である。白川
先生によって先鞭がつけられた殷周代社
会の呪術的要素の究明は、平勢隆郎ら古
集などの日本古代歌謡の呪術的背景にも
優れた論考を行つていい。

最近では、平凡社から「白川静著作(全
12巻、完結)」「白川静著作集別巻」(全22
巻)を刊行する傍ら、中学・高校生以上の
広い読者を対象とした漢字字典「常用字解」

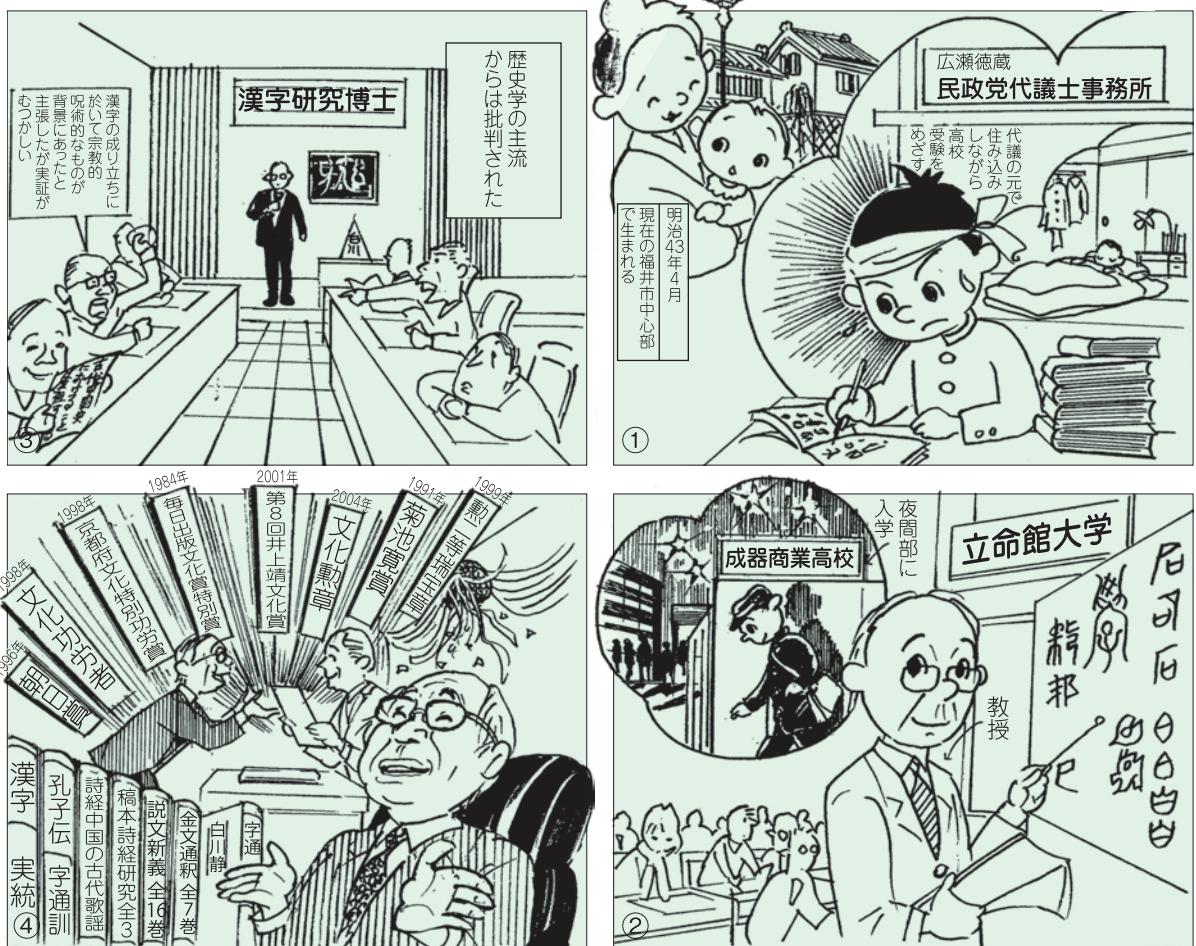


- 主な著作**
- 【金文通釈】(全7巻9冊)
 - 【説文新義】(全16巻)
 - 【稿本詩經研究】(全3巻)
 - 【詩經—中国の古代歌謡】
 - 【漢字】【字統】【字訓】【字通】【孔子伝】

受賞

- 每日出版文化賞特別賞(1984年)
- 菊池寛賞(1991年)
- 朝日賞(1996年)
- 京都府文化特別功労賞(1999年)
- 文化功労者(1998年)
- 勲二等瑞宝章(1999年)
- 第8回井上靖文化賞(2001年)
- 文化勲章(2004年)

立命館大学文学部教授
博士論文(興の研究)で文学博士号 京都大学



年会費納入のお願い

平成30年度

同窓会募金につきご支援方お願い

今年学園創立百十五周年、同窓会設立十四周年を迎えました。我が母校は32,000名を越す卒業生が居り、内連絡の取れる方が16,000名以上に至ります。各界で多数の卒業生が活躍しておられます。

我が同窓会の收支計算書を見ますと、会費納入者の少ない事にお気付きかと思います。「会員相互の親睦をはかるとともに、母校の発展に寄与する」ことを目的とする」と会則第3条にあります。その目的達成の為、役員同は日頃懸命に努力しておりますが、不行届きの点多々あると思われます。何卒ご寛容下さい。

同窓会は勿論、会員皆さんの会費で運営されております。年間3,000円の会費です。出費の多い事、又邪魔臭い事などいろいろな事情は有るかと思いますが、何卒ご協力頂きます様をお願い申し上げます。

平成29年4月1日以降平成30年3月31日までの受付分27名、金1,547,222円也の融市場に加え、トランプ米大統領による輸入制限方針の表明により世界経済は動搖しております。先行きに不透明感が出て不安も大きくなっています。とりわけ業績低迷に苦しみ人への投資が遅れています。激しく移り変わる時代に応えるための同窓会活動の充実には、多大の経費が必要とします。

其の為にも引き続き学校側のご協力を頂き、皆様から受け継がれる伝統を次世代に繋げるための契機としたいと考えています。長い年月を経て変わりないものは、同窓生の皆様の母校に対する思いです。その思いによつて結ばれる絆は掛け替えのないものであります。この絆の礎ともなる母校は、これからのが絶えず新しい時代に相応した教育内容の充実整備を図ることが大切であるとともに、更なる発展のためにも可能な限り募金活動を続けて実施し、是非皆様のお力添えを頂きた

同窓会の皆さんにおかれましては、益々ご健勝のことと存じ上げます。

平素は、大阪学芸高等学校同窓会《通称（成器会）》に対し、温かいご支援を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

この募金にご協力頂きました方々の芳名を下記に記載させて頂きました。」に改めて深く感謝の意を表します。

今年は、最近の円高傾向など不安定な金融市場に加え、トランプ米大統領による輸

入制限方針の表明により世界経済は動搖しておらず、先行きに不透明感が出て不安も大きくなっています。とりわけ業績低迷に

危機感が強くなっています。激しく移り変わる時代に応えるための同窓会活動の充実には、多大の経費が必要とします。

この芳名を揚げ厚く御礼申し上げます。

（敬称略・到着順）

平松 輝義（昭和19年卒）
吉田 秀勝（昭和25年卒）
武江栄太郎（昭和28年卒・元教員）
上野寅次郎（昭和32年卒）
谷口 誠亮（昭和33年卒）
林 建次（昭和34年卒）
田中正太郎（昭和35年卒）
富岡 朋治（昭和36年卒）
川中 信行（昭和36年卒）
菊地 耕作（昭和36年卒）
山田勝比古（昭和37年卒）
大迫 俊郎（昭和37年卒）
寺島 正也（昭和39年卒）
井上佐治朗（昭和42年卒）
中野 孝雄（昭和43年卒）
鈴木 清（昭和44年卒・元教員）
田浦 龍次（昭和45年卒）

くお願いを申し上げる次第で、あります。

平成8年度からは、年会費もお願いし、これまでに資するため、何卒ご理解を賜り、「ご協力」支援の程、宜しくお願い申し上げます。これからも自助努力で会報の発行を継続するため同窓会各位の積極的な「支援、同窓会活動の活性化、財政の健全化及び会報継続発行等々に資するため、何卒ご理解を賜り、「ご協力」支援の程、宜しくお願い申し上げます。

学園関係物故者 慰靈碑管理基金へのご協力お願い

高野山は、弘仁7年（816）弘法大師空海が、密教修禪の道場とするため嵯峨天皇よりこの地を賜り開祖された日本仏教一大聖地であります。また平成16年（2004）7月には「紀伊山地の霊場と参詣道」として、「ユネスコ」の世界文化遺産に登録され、日本国内はもとより世界各国の方々も数多く訪れております。

この由緒ある地に、しかも我々の大先輩（2部・7期卒業）の森寛紹師（高野山406世管長）やかりの普賢院が管理する土地に同窓会第5代会長の和田貞夫氏が学園創立100周年記念事業として学園関係物故者慰靈碑の建立をよびかけ、平成18年に完成されたものであります。同窓会会員の皆様には、是非高野山を訪ねていただき学園慰靈碑に参拝頂き度お願い申し上げます。

毎回同じお願いを繰り返して恐縮ですが、管理する為の資金のお願いを申し上げます。

年会費納入者

高額寄付者には、「芳名を慰靈碑前の
に記入しております。

高額寄付者とは、10万円以上の「寄付を
いただいても結構です。何回かに分けて」寄付
円に達しましたら、高額寄付者となります。
私はすでに10万円に達していると、お心
当たりの方は同窓会事務局までお申し出で
下さい。同窓会が管理する、寄付金台帳の確
認をさせて頂きます。

何卒皆様方のご理解ご協力を切にお願
い申し上げます。

① 募金方法

情により一口単位に達しない場合にも
喜んでお受け致します。

② お振込は下記に記載の通りです。



御芳名標石



慰靈碑

慰靈碑管理基金

寄付者ご芳名録

平成29年4月1日以降平成30年3月31日
までの受付分11名、金62,611円也の温
かいご協力を戴き深く感謝の意を表し、ご
にご芳名を掲げ厚く御礼申し上げます。

(敬称略・到着順)

森島 春夫(昭和26年卒)	武江栄太郎(昭和8年卒元教諭)
上野寅次郎(昭和32年卒)	川中 信行(昭和36年卒)
菊地 耕作(昭和36年卒)	山田勝比古(昭和37年卒)
八尾 博(昭和37年卒)	大橋 秀志(昭和41年卒)
城垣 和生(昭和43年卒)	芦阪 伸二(昭和46年卒)
渡(昭和56年卒)	

(敬称略・到着順)

ご案内図



立山	中路	楠橋伊左夫先生	清志先生	悟先生	（平成29・12・26）	御存名	卒業期	死年月日
登木龍太郎先生(昭和27年卒)	西田 黒川 脇本 桜井 松本 森居 上田 山本 和雄(昭和12年卒)	和幸(昭和43年卒)	定四(昭和39年卒)	隆司(昭和43年卒)	(平成30・31)	（平成30・31）	(平成29・30)	(平成30・31)
(平成30・31)	2 12 3 7 3 12	23 3 13 15	28 23 28 30 30 30	28 23 28 30 30 30	12 3 7 3 12 3	17 31 4 7 23 3	12 3 7 3 12 3	13 15

申込書

【郵便局】
・口座番号 00900-1-1-7923
・加入者名 大阪学芸高等学校同窓会(成器会)

ご逝去の通知を頂いた方々のご冥
福をお祈りするとともに同窓生各
位にお知らせします。

(敬称略・卒業順)

振込み用紙は、送付された郵便局の払込取
扱票(赤字印刷)を使用されるか、郵便局に
備え付け用意されている払込取扱票用紙
(青色印刷)をご使用下さい。青色印刷の払
込用紙を使用の際は、振込手数料を差引い
てお振込みください。なお、振込手数料は郵
便局職員にお尋ね下さい。

年会費・募金・慰靈碑管理基金

お申し込み方法

会報発行後早や二十二年目を迎え、お陰様
で関係各位のご協力により平成三十年度会
報二十二号を皆様にお届けすることが出来
ました。

既に、本校創立百十五年を迎える大阪学芸
が、更なる永続発展を続けるために教育内容の
充実と「行動理念」や「建学の精神」時代や社
会の変化に柔軟に対応する「自己革新の精神」
そして、生徒が伸びやかで生き活きとした学校
生活を送る上で一層の魅力溢れるバランスの
取れた人格形成に期待する次第であります。
最後になりましたが、ご寄稿頂きました皆
様方並びに広告掲載のご協力頂きました
方々に深く感謝し御礼申し上げます。

終わりに皆様方のご健康とご多幸を心か
らお祈り致しましてあとがきのご挨拶とさ
せて頂きます。

副会長 田中 敏文

お願い

同窓会では、同窓会行事の案内、各行事の写真、年1回
発行している同窓会会報誌「学芸」をご覧になれる、ホームページを開設しております。ぜひ一度ご覧ください。

また、Facebookのページも開設しております。

こちらもぜひご覧ください。たくさんのご訪問お待ち
しております。

事務局

同窓会ホームページアドレス:

<http://gakugei-seikikai.jp/>

同窓会Facebookアドレス:

<https://www.facebook.com/GakugeiSeikikai>

大阪学芸高等学校同窓会(成器会)

あとがき

平成30年度の行事予定・定期総会及び懇親会を左記の通りご案内申しあげます。つきましては、同窓会のお知り合いお誘い合わせの上、多数の出席を頂けます様お願い申し上げます。

平成30年度行事予定・2019年総会及び懇親会のご案内

● 高野山普賢院一泊と学園慰靈碑参拝及び野迫川温泉旅行

日 時 平成30年8月4日(土)～5日(日)
スケジュール

一泊コース

4日(土)の午後5時迄)高野山・普賢院に集合する。

普賢院で宿泊し翌日(5日)奥之院学園慰靈碑を参拝

後野迫川温泉を訪ねて昼食をとる。

日帰りコース
5日(日)南海高野線難波午前8時00分発こうや1号に乗車し高野山の学園慰靈碑前に午前10時10分に集合する(慰靈碑前で一泊組と合流する)

学園慰靈碑参拝後、野迫川温泉を訪ねて昼食をとる。

会 費 一泊コース15,000円
注意 参加希望者は予約が必要ですので、必ず2週間前迄に同窓会までお申し出下さい。案内状と参加希望申込書をお送りします。

● 秋季懇親会

(参加人数により場所・時間を変更する場合があります。)

平成30年11月3日(土)

(場所:ニューミュンヘン南大使館)5時～懇親会

● 総会及び懇親会 (参加人数により場所・時間を変更する場合があります。)
2019年6月上旬
(場所:道頓堀ホテル)4時～総会終了後懇親会

- ※右記諸行事に参加ご希望の方には案内状を送付させていただきますので卒業期・年度・住所・氏名・TEL・FAX等の記入の上、左記の所に葉書にてその旨をお知らせください。
- ※やむをえない事情により日程・その他を変更する事がありますので、ご希望の方はその都度役員にお聞きください。
- ※同窓会ホームページでも案内しておりますので、ご覧下さい。

宛先 〒五五八-〇〇〇三 大阪市住吉区長居一一四一五

大阪学芸高等学校同窓会(成器会)

FAX 〇六(六六九三)六三〇一
TEL 〇六(六六九三)五一七三

平成29年度 決算報告

単位:円

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
入会費	2,855,000	総会(懇親会)費	414,020
年会費	279,000	秋季懇親会費	374,431
寄付金(募金)収入	154,722	学園慰靈碑参拝費	147,122
慰靈碑管理基金収入	62,611	会報「学芸」作成費	808,263
広告収入	135,000	慰靈碑管理費	54,000
行事協賛金(学園より)	350,000	記念品費	404,244
総会(懇親会)会費	203,000	寄贈費	40,000
秋季懇親会会費	182,000	通信費	154,402
学園慰靈碑参拝会費	140,000	会議費	175,185
雑収入	255	旅費交通費	163,000
受取利息	42	慶弔費	5,830
		支払手数料	22,693
		事務用消耗品費	29,160
		雜費	9,084
前年度繰越金	9,700,686	次年度繰越金	11,260,882
合計	14,062,316	合計	14,062,316

上記の通り報告します。

会計 氏田隆夫

会計監査報告

上記の会計決算報告について監査した結果、適正と認めます。

会計監事 大橋秀志
会計監事 川原 実

広告掲載を賜りまして誠にありがとうございます

学園と同窓生とを結ぶ会報「学芸」がより豊富な内容で末永く発刊出来ますよう、
今後も広告の掲載にご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

<p>丸善電機産業株式会社 専務取締役 橋本 浩行 (高校(普) 18期生・昭和56年卒業) TEL(06) 6797-1133 FAX(06) 6797-1137 URL http://www.magnix.co.jp</p> <p>スリーピーサイクル 平野店 〒547-0033 大阪市平野区平野西1-2-6 丸善ビル1F 店舗 TEL(06) 6777-1317 営業時間10:00~19:30</p>	<p>仕出し料理専門店  取締役 会長 平野 正治 高校13期 昭和36年卒業 〒559-0002 大阪市住之江区浜口東2-7-14 TEL 06-6675-9251 FAX 06-6659-5029</p>	<p>昭和39年卒業生 祝 第20回 成器サンキューカン 同窓会 2018年7月21日(土) PM6:00~8:30 於:ナンバ道頓堀ホテル</p>
<p>税務・労務・法律・行政をはじめ 中小商工業者のあらゆる相談は…</p> <p>協同組合 大阪中小企業経営センター 〒590-0953 堺市堺区甲斐町東4丁1番10号 TEL(072)221-5115 FAX(072)221-5055 E-mail keiei_center@ockc1969.jp URL http://www.ockc1969.jp</p>	<p>ガス & 水道 住之江ガスセンター(有)仲西商店 代表取締役 仲西 晃 大阪学芸高等学校同窓会(成器会)名誉会長 (高校8期・昭和31年卒業) ガスふろ給湯器・ガス器具全般・ガス工事 水洗トイレ器具全般・洗面化粧台・水道工事 システムキッチン&バス・リフォーム工事 〒558-0033 大阪市住吉区清水丘2-32-25 電話06-6672-4126 FAX06-6673-4870</p>	<p>足立硝子株式会社 〒556 大阪市浪速区日本橋東2丁目2-6 -0006 TEL. 大阪(06)6643-0335 FAX. (06)6643-5677 〒452 愛知県清須市西枇杷島町古城2-4-3 -0001 TEL. 名古屋(052)506-7505 FAX. (052)506-1633 〒230 神奈川県横浜市鶴見区市場大町1-14 -0025 TEL. 東京(045)834-7317 FAX. (045)834-7818</p> <p>U R L http://www.adachiglass.co.jp E-mail adachi@adachiglass.co.jp</p>
<p>年金・労務などの御相談は 社会保険労務士 藤井 昭三 [元大阪府議会議員 2部 昭和20年卒業 成器会顧問] 〒572-0005 寝屋川市成田西町16-2 TEL 072-833-8585 FAX 072-833-8586</p>	<p> 社団法人/全国宅地建物取引業保証協会 社団法人/大阪府宅地建物取引業協会 宅建免許/大阪府知事(4)第48749号</p> <p>有限会社 朝日プランニング 代表取締役 衣斐 雅一 (高校27期・昭和50年卒業) 〒545-0043 大阪市阿倍野区松虫通2-8-9 TEL(06)6655-6774 FAX(06)6655-6775 asahi0829@clock.ocn.ne.jp</p>	<p>特別養護老人ホーム「阿宇の社」 (平成31年4月頃オープン予定) 社会福祉法人天下茶屋聖天福祉会 理事長 辻見 覚彦 昭和60年度卒業(普通科) 〒545-0043 大阪市阿倍野区松虫通3丁目2番32号 TEL 06-6651-2727(仮)</p>
<p>株式会社 松本建材 松本 静夫 (昭和35年卒業) 〒558-0011 大阪市住吉区苅田8-12-22 電話 06-6698-7989</p>	<p>美術印刷・Web制作 企画・提案・製作 株式会社 ヒラックス 代表取締役 上野寅次郎 (成器会副会長・高校9期・昭和32年卒業) 〒581-0012 大阪府八尾市小阪合町1-2-15 TEL(072)929-8739 FAX(072)929-8737 E-mail:hilux@axel.ocn.ne.jp</p>	<p>鉄・ステンレスパイプ 切断専門 環境に優しい商品の取り扱い 食品衛生管理でお困りの方 ご一報下さい。</p> <p>西野パイプ株式会社 代表取締役 西野仁彦 (高校11期・昭和34年卒業) TEL(072)255-0803 FAX(072)255-0804 e-mail nishino-paiipu@mbi.nifty.com インターネットショッピング(West Field) http://w-field.b-smile.jp/</p>
 <h1>ガンバロー!!</h1> <p>大阪学芸高等学校附属中学校 大阪学芸高等学校</p>	<p>紙製貼り箱 企画・製造</p> <p>島屋紙器工業所</p> <p>代表 英 康夫 昭和39年卒</p> <p>www.shimayashiki.com</p> <p>[島屋紙器工業所] [検索]</p>	

表紙絵及びイラスト 作家プロフィール
 はら たくみ(原 琢三)

イラストレーター・日本グラフィックデザイナー協会会員
 各界で活躍中

*表紙絵及びイラストは故白川静(じらかわしづか)1910年(明治43年)4月、福井県足羽郡佐佳枝町(現在の福井市中心部)で生まれる。文学者。立命館大学名誉教授。文学文化研究所所長。理事長。小学校を卒業後、広瀬徳蔵(のちの民政党代議士)の事務所に住み込みながら、成器商業夜間部(現大阪学芸高校)で学ばれ、この頃に、広瀬の蔵書を読み漁って漢籍に親しむ勉強をしていった。1954年からは立命館大学文学部教授を務め、1962年、博士論文「興の研究」で、文学博士号を取得(京都大学)。1981年には名誉教授の称号を受けた。「主な著作」「受賞歴」等詳しく述べて20頁をご覧下さい。